

展覧会情報

旅行時代の到来!!-パノラマ地図と近代大衆旅行-

会場 滑川市立博物館
電話076-474-9200
期間 2月18日~3月25日

横浜にチンチン電車が走った時代

会場 横浜都市発展記念館
電話045-663-2424
期間 1月28日~4月1日

四国へんろの旅-絵図・案内記と道標-

会場 愛媛県歴史文化博物館
電話 0894-62-6222
期間 2月21日~4月8日

江戸の情景 -一切絵図を中心に-

会場 千秋文庫
電話03-3261-0075
期間 1月5日~4月14日

ザ・タワー ~都市と塔のものがたり~

会場 江戸東京博物館
電話03-3626-9974
期間 2月21日~5月6日

巡検開催のご案内

■平成24年春の巡検「岩槻巡検」を開催します!

3月31日(土)「雛人形のふるさと岩槻を歩く」

集合:10:00 東武野田線「大宮駅」改札、

10:15 東武野田線「岩槻駅」改札。

ルート:ルート検討中ですが、「東玉人形の博物館」、「時の鐘」、「岩槻城址公園・黒門」、「酒造資料館」、「岩槻郷土資料館」など見どころがいっぱいです。

参加費:1,000円(予定)

参加希望の方は3月26日(月)までに03-3262-1486か



E-mail: edit@chizujoho.jpまでご連絡下さい。

mini地図NEWS

4D City Scape TIME PUZZLEをご存じですか。

誰もが一度は遊んだことのあるジグソーパズルに地図をテーマにした商品が誕生。「4D City Scape TIME PUZZLE」と名付けられたこの商品は、世界の主要5都市「東京」「香港」「ニューヨーク」「ロンドン」「ラスベガス」をテーマにした“立体地図パズル”で、ジグソー大手「やのまん」が昨年9月30日に発売(各7,140円)したものです。

パズルは平面2層、立体1層の3層構造。土台になる地図パズルは上下2層で、下層は過去の地図か建物模型を置く際のガイドマップ、上層は各都市の最新地図になっている。「東京」の1層目は東京タワーが完成した1958(昭和33)年の“古き良き東京”、2層目は東京スカイツリーが立つ現代の“メガシティTOKYO”の地図となっている。

4D CityScape TIME PUZZLE 都市の歴史を体感する、3層構造の立体地図パズル!!

上下2層となっている都市の地図パズルを組み立てた後、付属の「建設年表」を見ながら時代順に「建物模型」をセットしていくことで、都市の発展をより立体的に体感することができます。

好評発売中!
4DCS TOKYO/東京

4DCS ニューヨーク
4DCS ロンドン
4DCS 香港
4DCS ラスベガス

世界の有名都市をラインナップ!!

地図絡み

第48回 ふうあい

帝京大学理事 井口悦男

貨幣や紙幣が、それぞれの国を象徴しているように、伝統や固有の文化を表示していることも切手以上と見てよい。日本の紙幣は和紙を台とし、粋と微妙さを極めた印刷で、優れた一例にはかならない。ヨーロッパ系洋紙のもつ硬質な平滑さに対し、硬質ながら柔軟性を帯び、指先への心地よい反応をかえす。

これと同質であった、明治以来国家機関発行の各種スケール全国図は、紙幣用紙に比べ和紙としての成分は、当初期以来下げられた用紙で開始された。ではあるが、和紙特有の紙面の平滑性の中に味をえる凹凸を伴う緩やかなスロープ面と、僅かにベージュがかかった白の落着きは、洋紙の白あるいは胡粉を混えた紙の真っ白さに対し、目になじむ優しさがあ、光を押さえた墨色インクによくなじむ紙面を構成した。

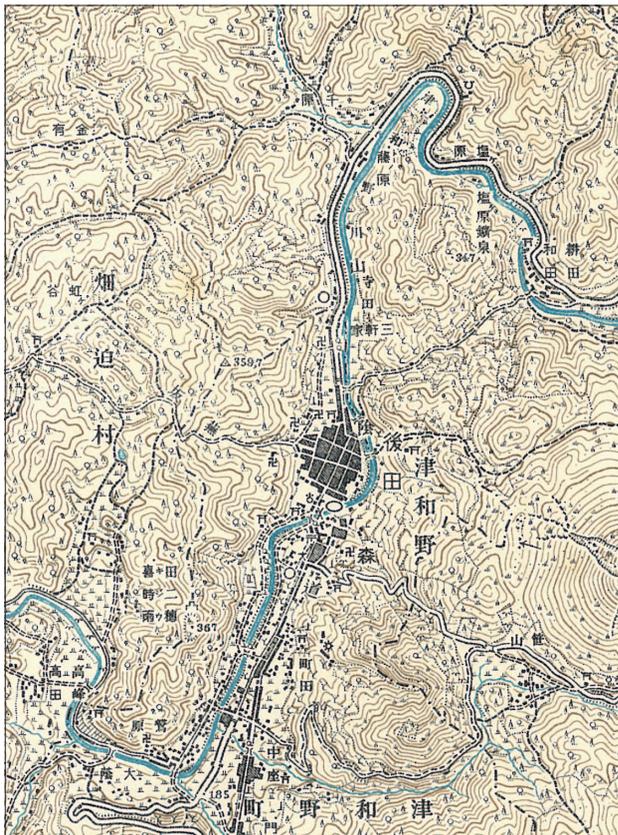
近代国家の整備、向上と裏腹に、くり返した戦費の増大は、残念ながら地図は軍事費の一部として、明治以来順次紙質の低下で辻つまを合わせの運命を背負う。硬質の中の柔軟性は楮、三椏分に木綿や故紙が混入され、その割合が増やされるにつれ、薄手から厚手の中のボヤ

ケタ柔軟性に移行する。

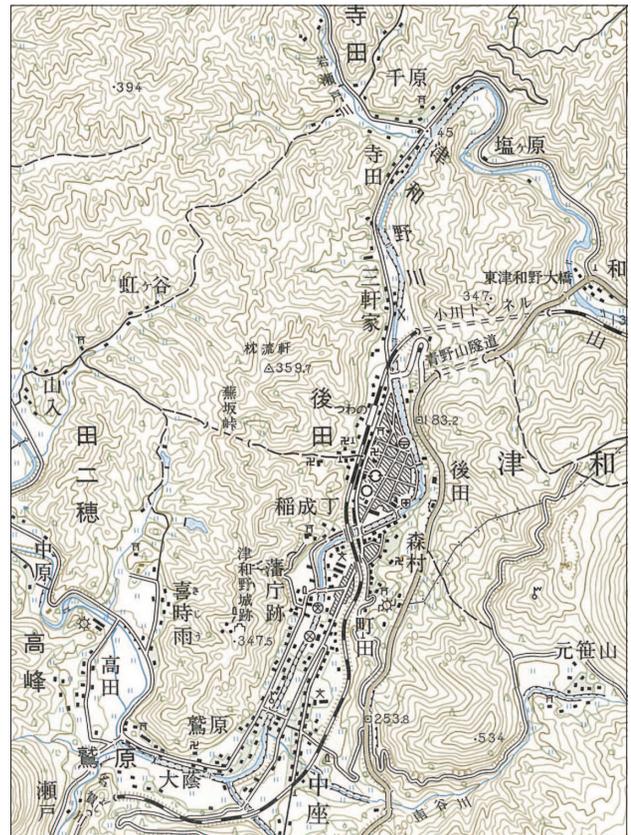
明治から昭和の敗戦時までの、地図用紙の手ざわりは、紙幣の薄手な硬質性から、早く遠去り、厚味を帯びた柔軟性に移行しはじめる。紙面の微妙な変化の手ざわりから、明治、大正、昭和のどこに該当するか、目で受ける差異とともに、瞬時に感じ取ることができた。

もちろん各図には、発行時の状況のままであれば、図郭外注記のうちに、発行年月日が入られているから、資料としてこれを確かめれば済む。その指標に限られず、時代を作品はそれぞれ反映し、指示する証拠を伴い作出されていることを、不思議に所持しているものなのである。意識して、紙に作出時期別に差異を設けることで、作出時期を物語らせようとしたのではなく、折々の事情が前後時期と相違する事実を残したにすぎない。しかし、永年継続する地形図にあつて、予期することなく選択された結果に、時期差を指示する事実を残した。そこから逆にわれわれは、やや細かく地形図作成時期をそれぞれの状況を感じとることが、脇付けの作成年月からの無機質的把握以上に考えることが可能となり、単なる紙の手ざわりの心地良さに止まることなく、それらの図作成時期の経済的あるいは社会的の推移を押し計ること可能となる。

紙の印刷物の資料性に限られることなく、一枚の紙を通し、その時をある側面から教えてくれているのである。
(12.02.03)



明治末から大正初めに掛けての5万分1地形図の三色刷図と、敗戦しばらく経過し、昭和40年代以降出現した4色刷図との間では、前の色刷図に、図としての品格の高さ、立体性見事さを感じる。戦



後のは平板に過ぎる。左「山口2号 津和野」明治32 (1899) 年測、右「同」昭和60 (1985) 年修正